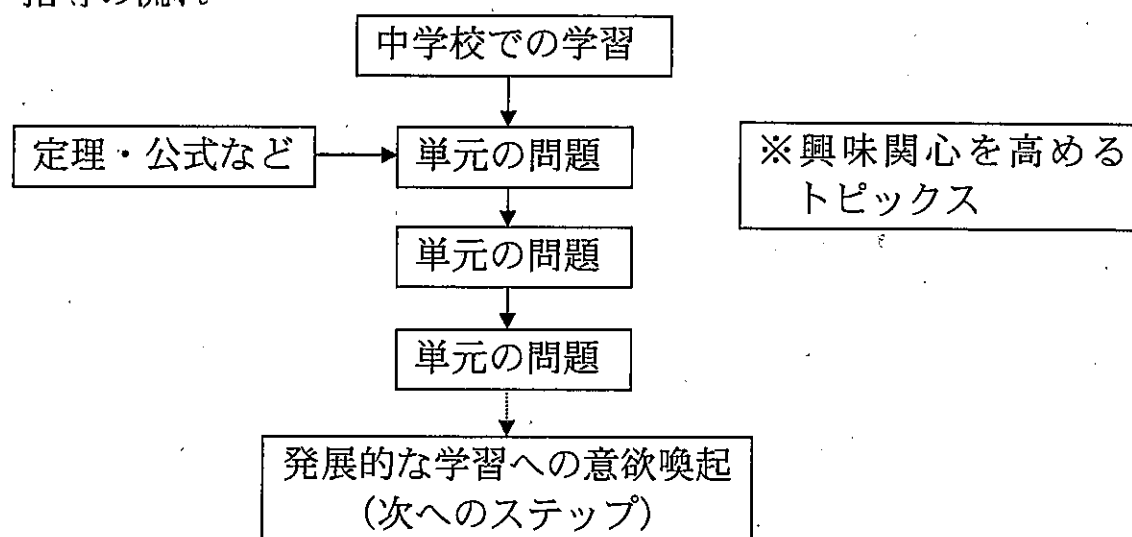


高校数学の課程を鳥瞰した系統図について

1 作成の経緯

- (1) 数学を苦手とする生徒の中に、「学習する道筋や目標が見えないまま、新しい概念が次々に出てきて不安になった。」とか「『公式の成り立ち』などを教えてもらえず、機械的に公式を暗記させられた。」などの意見があることを踏まえ、生徒の数学に対する興味関心をより喚起するため、授業の中で、学習内容の系統性や目標を示すことが大切であることを認識
- (2) 問題を中心とした系統図は、全国的にもほとんど例がないため、本県独自の教材として、県教育委員会と教育研究所の数学担当教員7名が集まり、4月から8月にかけて作成
- (3) 系統図は、指導資料として各高校に冊子と電子データで提供し、各高校では、生徒用を作成して授業で活用

2 指導の流れ



3 活用について

- (1) 高校入学時および各単元の最初の授業で使用し、既習事項と関連づけながら単元の学習内容の全体像を学ぶことで、生徒は見通しを持ち、安心して学習に取り組むことができる。
- (2) 教員自身が指導内容の系統や関連性を整理・把握し、授業改善や指導力向上に役立てることができる。
- (3) 各高校の教員の意見を参考に、本冊子の内容をよりよいものとし、来年度以降も引き続き活用していく。

高校数学における

鳥瞰図

(系統図)